

10月13日（水）

ゴキブリが天井を這っています。

私はゴキブリが苦手です。特に飛ぶゴキブリは最悪です。若い頃、真夏の蒸し暑い日、部屋の中をゴキが飛び回っていました。逃げ惑う私の首筋にゴキがとまりました。即死寸前の私でしたが、どうにか今も生きています。

そんな記憶が甦るなか、ゴキが天井を這っています。決死の思いでゴキと対決しなければなりません。しかし、あの頃と違うのは、私にはゴキジェットという強力な武器があります。噴射の方向さえ間違わなければ楽勝です。とはいいつつも、恐怖の記憶が私を襲います。天上から私の方に飛んでくるのではないかという恐怖に怯えつつ、意を決してジェット発射！ ゴキは床上に落ちました。やった！と思ったのもつかの間、ゴキは素早くベッドの下に走り去りました。いさいかまわず、ベッドの下のわずかな隙間にジェットを噴射しまくりました。ゴキはどうなった？ 確認することもできず、そのままにしました。が、寝静まった私の顔にゴキが這うようなことになれば、という恐怖が襲います。